

古典女踊り 本貫花（むとう ぬちばな）

1. 金武節（ちんぶし）

春の山川に 散り浮かぶ桜（はるのやまかわに ちりうかぶ さくら）
すくい集めてど 里や待ちゆる（すくい あついみてい どう さとうや まちゆる）

【 訳 】

春の山川に散り浮かぶ桜の花びらをすくい集めて
わたしはあなたをお待ちします

2. 白瀬走川節（しらしはいかー ぶし）

白瀬走川に 流れゆる桜（しらしはいかゑに ながりゆす さくら）
すくて思里に 貫ちやり はけら（すくていうみさとくに ぬちやり はきら）
赤糸貫花や 里にうちはけて（あかちゆぬちばなや さとに うちはきてい）
白糸貫花や よ得れ童（しらちゆぬちばなや ゆみり わらび）

【 訳 】

白瀬走川に流れ浮かぶ桜の花びら
作った花輪を 愛しいあの人へ
赤い糸で貫いた花輪は 愛しいあの人に
白い糸の花輪は 子どもたちにあげましょう